

番号	1
事業名	アフターコロナ観光促進事業
	総事業額：78,991 千円
予算額（主な支出）	①三井高利生誕 400 年・三井越後屋創業 350 年記念事業費 18,562 千円 ②お肉のまち松阪プロモーション事業費 10,709 千円 ③～社会的つながり創出提案事業～ 松阪の「映えスポット」でメモリアルフォト事業費 1,392 千円 ④松阪観光客支援・宿泊施設クーポン事業費 24,293 千円 ⑤アフターコロナを見据えたシティプロモーション事業費 24,035 千円
特定財源	なし
事業の概要	<p><u>①三井高利生誕 400 年・三井越後屋創業 350 年記念事業</u> 令和 4 年度を、松阪市と三井グループとの新たなスタートの年と位置づけ、三井家発祥地を始めとした三井高利にゆかりのある観光・文化遺産を磨き上げ、その功績を顕彰するとともに、松阪市との歴史的なつながりや関係性を深め、様々な連携事業を展開する。</p> <p><u>②お肉のまち松阪プロモーション事業</u> 知名度の高い「松阪牛」とご当地グルメとしてメディア露出が増えている「松阪鶏焼き肉」を前面に押し出したプロモーションを展開。パンフレットや動画を制作、対象店舗のレシートで応募できるキャンペーン等も開催する。</p> <p><u>③～社会的つながり創出提案事業～</u> <u>松阪の「映えスポット」でメモリアルフォト事業</u> 松阪市外の方が市内業者（写真館や貸衣装店、結婚式場等）を利用して、松阪市内の「映えスポット」で結婚式の前撮りや七五三、マタニティフォトなどのメモリアルフォトを撮影した場合、対象事業者への支払額の 3 分の 1（上限 2 万円）の補助金を交付し、交流人口の増加を図る。</p> <p><u>④松阪観光客支援・宿泊施設クーポン事業</u> 観光客等が、市内宿泊施設に宿泊する際に、市製作動画「ウチの逸品」参加店舗にて利用できるクーポン（1 人 3,000 円）を発行し、飲食で利用することで、観光客誘致、地域経済の活性化に繋げる。</p> <p><u>⑤アフターコロナを見据えたシティプロモーション事業</u> 無料電子雑誌「旅色」を活用、著名なタレントを起用し、「電子雑誌・紙冊子・PR 動画」を制作、旅前から旅中までインパクトのあるシティプロモーションを展開する。</p>
事業の背景など	新型コロナウイルス収束後の国内観光の活性化を見据え、目的地として松阪市を選んでもらうための情報発信と、地域経済を活性化させるために実際に訪れてもらう仕組みが必要なため。

目的・効果など	<p>松阪牛や著名人を活用したインパクトのあるプロモーションを展開することで、強力に訴求し、松阪市の知名度向上を図るとともに、社会的つながりを創出する。</p> <p>また、着地型のキャンペーンを展開することで実際に訪れてもらい、宿泊・飲食を促すことで観光消費額の増加を狙う。</p>	
事業スケジュール	<p>令和４年６月下旬</p> <p>令和４年７月～令和５年１月</p> <p>令和４年７月上旬</p> <p>令和４年８月～</p> <p>令和４年１０月～</p> <p>令和４年秋頃</p> <p>令和４年１１月～１２月</p> <p>令和４年度中年３回</p>	<p>シティプロモーション電子雑誌・動画公開</p> <p>クーポン配布</p> <p>シティプロモーション紙冊子完成</p> <p>メモリアルフォト事業登録事業者募集</p> <p>メモリアルフォト事業申請開始</p> <p>三重テラスでのイベント開催</p> <p>お肉のまち松阪着地型キャンペーン</p> <p>三井高利記念シンポジウムの開催 (東京、京都、松阪)</p>
添付資料	なし	
備考	なし	
担当課	産業文化部 観光交流課 電話 53-4404	